



門松作りで交流

生き活きセンターで初めて

ひまわり児童クラブ利用の子どもたちが、生き活きセンターで温泉利用者や門松づくりをして交流しました。温泉利用の女性は、「私にも孫がいるけど、遠くにいるのでなかなか会えない。少しの時間だったけど、楽しかった。」と賑やかな時間を喜んでいました。

参加受付中

五所川原市 アクティブシニアポイント事業

65歳以上の市民の元気づくりをボランティア活動で

ポイントも貯まる
意欲的な毎日!

市民が、身近なところで行われている介護や健康づくり事業等(対象活動)に参加しての協働活動、お話し相手、散歩や交流のお手伝いなど各種ボランティア活動に関わる機会を増やすことにより、参加者自身の健康と意欲の向上を促します。

さらに、社会への参加と貢献の拡大効果により多様な連携を築き、お互いに支え合う生き生きとした地域づくりを目指すものです。

1時間のボランティア活動が1ポイント(1日2ポイントが上限)になり、1年間で最大100ポイントまでを、

活動実績として貯めることが可能です。

活動ポイントは商品券に交換することができます。



エコキャップがワクチンになるまで

『皆さんのエコキャップがとなり、世界の子どものワクチンとなります』

皆さんからお寄せいただいたエコキャップは、専門の回収業者によってリサイクル資源として売却。その売却益がJCV(世界の子どものワクチンを日本委員会)への寄付となります。

JCVはUNICEF(国際連合国際児童緊急基金)と連携して、世界のワクチン工場へワクチンを発注します。

製造されたワクチンは、冷凍のまま空輸で支援国へ届けられます。

支援国のワクチン保管センターで、冷蔵・冷凍保存され、各地の予防接種会場で子どもたちへ接種されます。



ありがとう

(敬称略)

■寄付金

- (公社)五所川原市シルバー人材センター 17,700円

■物品

- (株)ホンダセンターナリコー
ホンダカセットボンベ式発電機(エネポ) 1台
- うめだりんご園 りんご 175kg
- 南ジャンボドライ タオル 23枚
- 匿名

トイレットペーパー 2袋、袋ラーメン 1袋

- 明治安田生命五所川原営業所 衣類、人形、本
- 小田川浩三 柿 100個
- 五所川原第三中学校ボランティア委員会

- ボックスティッシュ 15箱
- (株)コアテック 非常食 132食
- 外崎れい子 しめ縄 7個

■アルミ缶・プルタブ等

- 五所川原
荒谷美子、池田麻、(株)岩谷精肉店、梅沢地区社会福祉協議会、うめたふれあいセンター、角弘スタンド広田店、笠井達徳、金澤人土、川丁スナック、工藤昇、クリーニングサンみわ、五所川原中央ライオンズクラブ、斎藤真紀子、青山荘デイサービス、第一生命五所川原オフィス、津軽石油販売株、伝法谷蔵、特別養護老人ホーム青山荘、長尾睦博、中野初江、フリーミストクラブ、堀内結人、(株)ホンダセンターナリコー、三浦トシ、三上まり子、むつ運輸代打社、(株)毛内酒店、山口喜久、夢の森ラッキー、米谷美智子、ラ・プリマベラ

●金 木

浅利勝義、黒川タカ、木村弘子、今テツ、竹内由紀江、田中豊忠、長尾匡時、長尾典子、奈良セツ、前田とみゑ、芳村君子、県親友会金木支部、前田自動車商会、竹峰書道院、津島ふとん店、みどりの風こども園かなぎ、五所川原警察署金木交番、入メそばや、川倉婦人会、住友生命保険(相)青森支社北津軽支部

●市 浦

秋田谷咲季、秋田谷美季、小野由紀子、さくらの会、福島あさ子、福島亮

■こども宅食へ寄付

- (株)裕健 ひなた薬局 子供用オムツ 24パック
- 匿名 お菓子・焼きのり・洗濯洗剤 7本
- 匿名 りんご 40kg、飲料12本
- 天理教西北I支部 りんご 50kg、他飲料品
- 川村 寛 玄米 30kg
- フリーミストクラブ 女性用品 36/パック
- 青い森のほほえみプロデュース推進協会 洗濯洗剤 7本



各種印刷物・デジタルコンテンツにおける企画・デザイン・制作から製版・印刷・製本

地域文化と価値創造の接点。



【本 社】五所川原市金山字龜ヶ岡46-7 TEL 0173(34)4487・FAX 0173(34)4459
URL http://www.artprt.co.jp E-mail net@artprt.co.jp
【つがる支店】つがる市木造千代町42 TEL 0173(42)1245・FAX 0173(42)8085

社協ごしよがわら

令和6年
2月号

編集・発行/社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494 FAX 0173-35-5855
〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6 URL http://gccsw.net/ E-mail gccsw@gccsw.net
■金木支所・電話 0173-53-2241 ■市浦支所・電話 0173-62-3285



おすそわけ便4年目へ



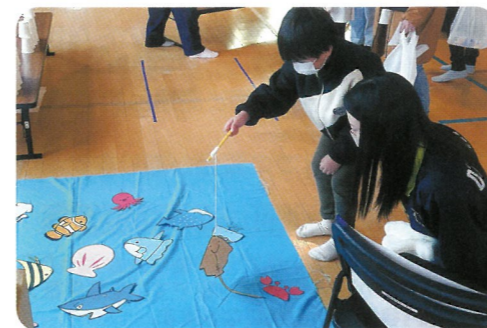
子育て世帯 社会とつながる

貧困に苦しむ家庭の社会からの孤立予防に、食品受け渡しを活かす「五所川原こども宅食おすそわけ便」が、昨年12月の定期開催で満3年になりました。



▲お菓子選びに迷い、保護者のヒントで納得する子ども
カラフルな綿菓子オーダーにボランティアが精を出す▶
▼保護者やボランティアと大漁を目指す

コロナ感染予防で世帯一人のみの入場制限を緩和したこの日は、親子でゲームを楽しみながら食品選びもできる3周年記念パントリーを取り入れ、来場者約350名の賑やかな声が響きました。



運営支えるボランティアに感謝

この活動は市民、企業、社会福祉法人や民生委員等が連携して食品提供、配布品の仕分け、受取場所や配達協力など、すべてをボランティアで行っております。

地域の方々あらゆる場面で参加し、応援してくださっていることに心からお礼を申し上げます。

焦らず待ち続ける。だから協力の継続を!

「子育てや仕事に追われる暮らしに疲れ果て、現状改善への力も抜け支援も諦める。」と話す人や、社会の目を気にして利用をためらう例もあります。

だからこそ、普段の暮らしに溶け込みやすく「少しの『おすそわけ』なので遠慮しないで。不安や心配を話そうと思った時は、いつでも私たちに声をかけて」の思いを込めて、ひたすら「つながり」続ける活動です。変化に気づきやすく、相談できる関係ができる時を焦らず待つ。そのためには、継続した作業協力やご寄付が何より必要となります。

この広報は、皆様からお寄せいただいた共同募金助成金の一部を活用して発行しています

私たちは、この住み慣れた地域で、高齢になっても、障がいをもって、自分らしく、安心して、一人の人間としての尊厳を大切に暮らすことに貢献します。

株式会社 五所川原ケアセンター

認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護『高齢者グループホーム憩いの家』
小規模多機能型居宅介護『ケアホームのりた』『ふれあいホームいこい』
居宅介護支援『ケアセンターいこい』

総合相談受付 TEL 34-4856 ケアホームのりた(事務本部)



市内各地で歳末の激励金品のお届けや交流活動を実施

皆様から寄せられた「地域歳末たすけあい募金」を活用

第一地区社協では、70歳以上独居の方々を対象にした「お楽しみ交流会」を、町内会長、民生委員児童委員、市役所職員が連携した内容で開催し150名が参加しました。

地域包括支援課の保健師が、「可能な限り積極的に動く」「外出・交流」などが健康な暮らしには必要と講話。午後には、「第64代青森県民謡王座」(演歌歌手)本間愛音さんの演歌披露があり、歌声に聞きほれ大きな拍手を送って楽しみました。

お楽しみ会
(五所川原地区)

会場には、「あー、しばらくだねー」「元気だよ」の参加者会話と笑顔が広がり、地域の人達とつながり続ける機会の良さを喜んでいました。



サンタがやってきた～

地域福祉センターには、青い目をした英国紳士がサンタに扮して登場。英語で話しかけられた子供たちは、驚いたりはにかんだり。プレゼントを受け取ると、練習してきたのか「サンキュー」と返す子もいて、和やかなシーンが続きました。



しめ縄づくりを喜良市他3か所で行いました。各々がスゲを編んで輪を作ったり、しめ飾りの土台を作ったり、まだ慣れていない人は、熟練の方に教わり、一人ひとり個性的なしめ飾りを完成させ、参加者は、「交流のきっかけができた。参加して良かった。」と話し、完成をうれしがった。

しめ縄づくり
(金木地区)

75歳以上の一人暮らしの方々が、民生委員やボランティアグループ(なんでもかだるべし～うら)と日頃の不安ごとや健康づくりの課題などを語り合い、食事を楽しみました。

にぎやかな食事は久しぶりで、つつい食べ過ぎた。と笑う人もおり、元気で再会出来ることを約束していました。

お楽しみお食事会
(市浦地区)



寒中お見舞い
申し上げます

寒さ厳しき折、皆様には益々ご活躍のことと推察申し上げます。

常日頃の本会事業へのご理解とご協力に心からお礼を申し上げます。

さて、能登半島地震は甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

支援者が連帯して寄り添うことが、被災者の苦境に耐える力と希望を見出す芽になると信じ、支援の継続と一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

また、当地域に目を向けると、老若を問わず孤独孤立の不安や複雑な悩みを抱えた家庭の顕在化、増大の状況があります。

対策の一環として、子育て世帯とつながる「ことも宅食おすそわけ便」に取り組み、身近なサロン活動等を介した高齢者や住民の健康増進と社会参加等を促進してきました。

活動では、一人ひとりが「できること」を發揮し、つながりが生まれ「住民による地域課題の解決力」が強くなっています。

住み慣れた場所でのゆるやかな見守りを感じ、安心して暮らし続ける基礎として、この力をさらに強め、地域福祉を推進してまいりますので、皆様の一層のお力添えをお願いいたします。

社会福祉法人 五所川原市社会福祉協議会
会長 乗田孝一

支え続ける
市民の活動が
称えられる

昨春秋、全国社会福祉大会において本会が優良活動表彰を受賞しました。

貧困家庭の社会からの孤立予防を目的とする「ことも宅食おすそわけ便」への社会福祉法人連携取り組みや永年の地域福祉推進が称えられたものです。

長年にわたり本会をご支援くださいました市民、関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。



社会福祉協議会の資金貸付

低所得、障がいをお持ちのかた、高齢の方などで、他制度等からの融資が困難な世帯の経済的自立と生活意欲助長を促すため、具体的な計画と用途目的に応じた資金を貸付しています。

世帯の困りごとに応じ、2つの資金があります。

たすけあい資金(市社協が貸付)⇒上限50,000円

急な出費などにより生活困難、通院で稼働収入が減ったなどの理由で、日常生活に支障がある世帯が対象です。連帯保証人の確保、民生委員による内容確認が必要になります。

生活福祉資金(市社協で申込手続き)⇒青森県社協が貸付

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等世帯単位に、それぞれの世帯の状況と必要に合わせた資金、たとえば、就職に必要な知識・技術等の習得や高校、大学等への就学のための資金、介護サービス利用のための資金貸付け等を行います。

まずは、電話でご相談を！
電話 0173-34-3494

五所川原市社会福祉協議会では、令和6年能登半島地震によって被災された方々を支援するために、共同募金会と連携して義援金(現金のみ)の受付を開始しています。

皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。

義援金の受付場所

- 五所川原市社会福祉協議会 電話 0173-34-3494
〒037-0065 五所川原市字幾世森218番地6
生き生きセンター内
- 五所川原市社会福祉協議会金木支所
電話 0173-53-2241
〒037-0201 五所川原市金木町川倉七夕野
426番地11 川倉の湯っこ内
- 五所川原市社会福祉協議会市浦支所
電話 0173-62-3285
〒037-0401 五所川原市相内321番地 悠遊郷内

電気のこと 暮らしのこと
お宅の困ったは 丸英 承ります

マルエーデンキ一番館
つがる市柏稲盛幾世171 Tel. 0173(27)5101

オール電化のことなら 東北電力電化普及協力店 **丸英設備** 一番館

空調設備 給排水設備 電気工事
株式会社 丸英でんき
〒037-0056 五所川原市東広30-43 TEL 0173-35-0103